

銅 賞

下水はどこからどく

鏡山 寛人

小郡市立 三国小学校

ぼくは下水はどこから来てどこへ行くのかずっと気になっていました。下水は必ずきれいにされていると思っていたけれど、最後までへ流れていくのかは、ぼくは分かりませんでした。

そしてぼくは、実際に行つて宝満川浄化センターの方にお話を拝聴しました。そして、ぼくは、まず下水をきれいにする一段階は沈砂池だということが分かりました。

沈砂池では、汚水中の大きなゴミや土砂を沈めて取り除いていました。そして、水をきれいにする二段階は最初沈殿池でした。最初沈殿池では、汚水をゆるやかに流して、沈砂池では取り除けなかった小さなゴミや土砂を沈めて取り除いていました。その次は反応タンクに運ばれ、汚水に微生物の入った活性汚泥を混ぜ、空気を吹き込んで、よごれを沈みやすくしていることが分かりました。その後は最終沈殿池に運ばれ一番最後の沈殿池で、さっきの反応タンクで大きな塊になった泥を沈め、上ずみを流していました。次は、水質検査で、今まできれいにしてきた水が本当にきれいになっていたか検査していました。最後に消毒設備で消毒をして、川へと流していました。

それまでたまっていた泥は、汚泥処理整備で、れんがやアスファルトの材料にするなどで工夫して泥を処理していることが分かりました。

宝満川浄化センターの方のていねいなご説明でとても分かりやすか

ったです。宝満川浄化センターに行つて、ぼく達が使った水をきれいにするために多くの設備を使っていることや、日々、水をきれいにしてくれている人達がいることが分かりました。機械だけでなく、微生物の力も借りていることを知ったときは、すごいなと思いました。これからは、宝満川浄化センターの方々が、多くの時間と手間をかけてきれいにしてくれている水のことをわすれずに大切に水を使っていこうと思います。